

地域課題の解決に向けた取組

先進的林業機械による低コスト化と軽労化に向けて

根釧西部森林管理署

【はじめに】

根釧西部森林管理署は、釧路総合振興局管内の中央に位置し、釧路湿原の上流域及びラムサール条約において登録された別寒辺牛湿原を含むパイロットフォレスト等がある釧路地区、阿寒富士を源として太平洋へ注ぐ庶路川・茶路川流域に面する白糠地区、阿寒湖・雄阿寒岳等阿寒摩周国立公園の中心部及び阿寒川流域に面する阿寒地区、阿寒山系から屈斜路外輪山をとおり摩周岳にかけての山岳林及び釧路川上流部に面する弟子屈地区の4地区により構成された8市町村に広がる約18.2万ha国有林の管理経営を担っています。

【地域の課題】

主伐期を迎える人工林の増加が見込まれる中、それに伴う再造林や人工林等の森林調査が増加しており、造林作業における担い手不足や調査を行う人員が不足し、作業の遅れが懸念されるなど、地域では継続的な課題となっています。

【課題解決に向けた目標】

課題解決に向け、一つ目は造林作業における機械化などによる軽労化、二つ目は精度を落とさず森林調査を省力化できる方法の確立を目標としました。

【課題解決に向けた取組】

目標達成に向け、造林作業では、伐採と造林との一貫作業やコンテナ苗の使用のほか、大型機械地斧での根茎除去による下刈回数の削減などの省力化、また、軽労化を目的に導入したリモコン式草刈機の実用性とその仕様に応じた活用方法の検証を進めるとともに、森林調査では、地上型3D

レーザの活用により、調査の省力化を試行し、機器の精度や実用性について検証しています。



【今後に向けて】

再造林については、更なる低コスト化・軽労化を進めるため、下刈回数の削減や各種機械による下刈作業を想定した地斧や植栽の仕様を検証するほか、関係機関と連携した各種勉強会等で実用性等について意見交換する中で、普及に向けた取組みも進めます。

林業の担い手不足が深刻化する中、この様な取組みが、林業現場での軽労化に繋がるよう日々研鑽していきたいと考えています。